

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」

長崎女子短期大学 実施報告書



実施主体 幼児教育学科 1年生、2年生

実施内容 長崎県主催のイベント・学園祭（平成25年6月1日～平成26年2月6日）

①事前に取り組んだ内容

卒業研究のテーマの一つとして児童虐待に取組み、実態把握のために県内の児童虐待に関わる機関に出向いて調査した。

- ・社会福祉法人 光と緑の園（4月12日）
- ・県警察本部少年課 少年サポートセンター（5月10日）
- ・AIGシビックホール（4月26日）
- ・長崎県子ども家庭課（5月17日）
- ・長崎命を大切に作る会
- ・長崎子ども・女性・障害者支援センター（5月24日）
- ・子育て支援センターぴよぴよ（4月26日）

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・主要なゼミメンバーがオレンジリボンを作成し、学園祭当日幼児教育学科全員でオレンジリボンを左胸につけ、意識を高め啓発活動に参加した。
- ・県の資料を参考にポスターを作成し、学園祭で掲示し啓発活動を行った。（11月2日・3日）
- ・長崎県福祉保健部と連携し、学園祭の来場者へパンフレット等の啓発グッズ配布を行い、オレンジリボンについて説明を行った。（11月2日・3日）
- ・長崎県教育委員会主催の「子どもを虐待から守るために（講師：柿田多佳子さん）」の講演を幼児教育学科2年生全員で受講した。（1月22日）
- ・卒業研究のテーマの一つとして児童虐待に取り組む、学内研究発表会で発表した（2月6日）



③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

幼児教育学科の学生が主体となって学園祭(弥生祭)でオレンジリボン運動を行なった。

保育の勉強をしている私たちにとって「子どもの人権尊重」は、日頃の授業でも話題になっていることであるが、他学科の学生や来場者などにはオレンジリボン運動の趣旨を広めるよい機会となったと考える。また、将来保育者を目指す私たちには「虐待防止に関する情報・意識」が深まり、社会的弱者や子どもの人権を守るという姿勢を新たにすることができた。